最速でJavaエンジニア になって稼ぐ

2018/11/17 人生逃げ切りオンラインサロン内





目次的なやつ

- 出来るエンジニアの仕事の進め方
- アプリケーションを作る時のちょっとしたコツ
- 作成するアプリケーションの要件・仕様
- バージョン管理(Git)
- ORMapper(MyBatis)





出来るエンジニアの仕事の進め方









- 現在エンジニアとして仕事をしている人は「技術」に関するすべてを知った上で仕事をしているわけではない(当たり前の事だけど
- 仕事においては「わからない事」「知らない事」「やったことがない事」というような「未知の領域」に対して「結果を出す事」が求められることが殆ど。
- 募集要項に書かれている経験年数や習得技術はあくまで「前提」でしかない。
- ・この「未知」に対して「どういうアプローチ」を取って「結果を出す」か。これがエンジニア(個人)によって全く違う仕事の進め方になる。

しかし、全く違うとはいえ「ある程度の結果を出す人」の行動パターンみたいなものはある。それを一部抜粋。





「無理」とは思わず「出来る」前提で考える。







とにかくググる。





めちゃくちゃ質問する。





でも人の言った事を「鵜呑み」にしない。





色々なパターンを考える。





手を動かして検証する。





そしてまたググる。





「出来なかった」時のことを考える。





「ごめんなさい」が最速。







というわけで





今回からはちょっと講座内容的にも「突き放し気味」になります。





「自己解決能力」を身に着けていきましょう。





アプリケーションを作る時のちょっとしたコツ















お客さんが気にするのは見た目。 プログラムは中間。 要件や仕様を満たすための 「データの構造」を表現するのがDB。





中間から進めるのは要領が悪い。 なので、画面 or DBから作る。





作成するアプリケーションの 要件・仕様









- 業務日付(翌月末、月末最終日)のようなものを管理したい。
- 業務日付の計算式を登録して、計算基準日を元に計算したい。
- 計算は画面上から手動でできればとりあえず良い。
- 業務日付は「他の機能」でも使いたい為、任意の日付IDみたいなもので検索して取得できるようにしてほしい。
- 検索で取得する際にはサービス経由での検索か、WebAPIのような形で検索したい。通信フォーマットはJSONでやり取りしたい。
- どんな業務日付が登録されているかも確認したいので、一覧取得も出来るようにしたい。これもWebAPIの形式でやりたい。







ヒント1









```
INPUT
画面
計算基準日
API(計算)
日付ID
計算基準日
API(一覧取得)
なし
```

```
OUTPUT
  画面
    No.
    日付ID
    日付名
    計算結果
    計算式(年月日)
  API(計算)
    計算結果
  API(一覧取得)
    日付ID
    日付名
    計算式
```













APIは後回し。 まずは画面上で一覧取得とか計算ができるように。









ヒント3





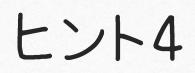
















画面とテーブルの要素は一致してても良い。









ヒント5





出来るエンジニアの仕事の進め方を参照する。













- プログラムを書く際、何度も修正をするし、新しいコードを書いたり、削除したりもする。
- この時に「常に上書き保存」というのがめちゃくちゃ危ない。
- というのも「既に動いているプログラム」を修正するという事は「動かなくなる」リスクを常に秘めている。これはどれだけ優秀な人でも起こる。
- なら「起こる」事を前提にして、それでも大丈夫、という状態にしておきたい。

- それが「バージョン管理システム」。
- 保存した内容を常に累積しておき、以前の状態へすぐに戻すことが可能。
- 大きく分けるなら「Git」か「SVN」が主流。Gitが最近は人気。















GitHubに登録して、アプリをバージョン管理してみよう。









Gitの解説、GitHubの登録からバージョン管理まで https://tech-camp.in/note/technology/4938/









ORMapper(MyBatis)





プログラム ⇔ DB のやり取りを楽にする為のもの。









- オブジェクト関係マッピングの略。
- Javaなどのプログラムコードで書かれた「オブジェクト」を「DBの構造体」に マッピングする仕組み。

ぶっちゃけ実例を見ないとわからない + プログラムに慣れてないとよくわからない。

- というような代物なので、色々試してみるのが吉。
- 現場では当たり前のように使うので、使えないと辛い。









SpringBoot + MyBatisのサンプルコードや使い方など https://www.shookuro.com/entry/2017/11/23/203318

上記よりもちょっと踏み込んだサンプル https://qiita.com/kazuki43zoo/items/ea79e206d7c2e990e 478 https://qiita.com/TEBASAKI/items/8925aa675f5e15b41967







次回までの宿題





検索が出来たら、登録・更新。 それも出来たらAPI実装に進んでみよう。











